

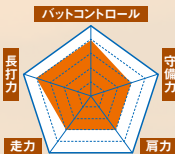
廣橋 敬大

ひろはし・けいだい 177cm78kg / 右投右打

遊学館(石川)3年 三塁手

徹底マークから復活期す大砲
ド派手なデビューから早くもラストサマーとなった強打者。福井・鯖江ボーイズ出身だけに敦賀気比の春Vには大きに刺激を受けているだろう。入学以来、絶体絶命の場面で結果を残してきた精神力を評価したい。県内の徹底マークから打球が上らなくなった感があるが、低い弾道の打球を広角に打ち分けている。復活のろしを上げるアーチが甲子園まで届くか。

生観戦ではココを見る!
最後の夏に花咲く復活のアーチ



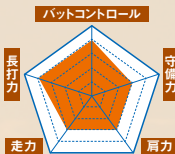
中川 広大

なかがわ・こうだい 178cm72kg / 右投左打

金沢(石川)3年 右翼手

一振りドラマ作る長距離砲
成長著しい仕事人。引っ張り専門の長距離砲だが、どんな球種にもカットでき自分のポイントに呼び込み一球で仕留められる。どんな劣勢であろうが、「こそぞ」という場面でなぜか打順が回ってきて、一振り期待に添えてしまう。存在自体がドラマ性をはらんでいるように感じる。いずれはレフト方向にも本塁打が打てるようになれば、まさに怖いものなした。

生観戦ではココを見る!
一振りドラマを作る仕事ぶり



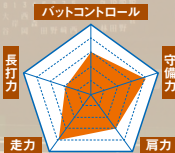
鈴木 将平

すずき・しょうへい 173cm73kg / 左投左打

静岡(静岡)2年 中堅手

スカウト陣の目を奪った快足
春のセンバツでスカウトの目を釘付けにした俊足外野手。ボールをとらえるセンスが抜群で相手投手に関係なく1試合で1本はヒットを打ってくる。塁に出れば、50メートル6秒0の脚力を生かして果敢に次の塁を狙う。相手のスキは絶対に見逃さず、気づけばあつという間に本塁に生還。ノーヒットで1点をもぎ取れる。今年の「静高」にはなくてはならない存在だ。

生観戦ではココを見る!
ランナーに出た時の素早い動き



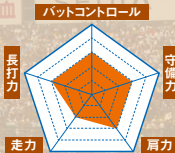
堀内 謙伍

ほりうち・けんご 176cm80kg / 右投左打

静岡(静岡)3年 捕手

長打に意外な対応力と視野も
東海地区屈指の強肩強打の捕手。左右両方向への長打力が武器で、崩されてもバットのヘッドだけが残り、ヒットにもっている。守備面では周りが見えて、指示も的確。センバツ大会ではエース・村木文哉がストレートを狙われていると見るや、徹底したフォーク球に切り替えるなど、頭脳のなりどが光る。自信のある二塁送球は低く伸びて、プレも少ない。

生観戦ではココを見る!
左中間方向への弾丸ライナー



杉山 賢佑

すぎやま・けんすけ 193cm72kg / 右投右打

東海大翔洋(静岡)3年 投手

誰もが素材を認める大型右腕
1年夏から期待される未完の大型。腰の故障で満足に投げる機会は限られたが、素材だけで昨秋は142キロを叩き出した。長身から長い腕がしなり、テークバックからリリースまで美しい。今春は、足のケガなどで思うような結果を残せず。それでも潜在能力の高さは誰もが認め、一つのきっかけで大化けの可能性も。本当の完成は体力がついた4~5年後か。

生観戦ではココを見る!
指にかかった時のストレート



杉山 一樹

すぎやま・かずき 191cm80kg / 右投右打

駿河総合(静岡)3年 投手

春に急上昇中の191センチ腕
マウンドに立つと、まるで打者に覆いかぶさるかのような威圧感のある大型右腕。昨秋までは抑えがきかず、ストレートが高めに浮くケースが目立っていた。それが一冬の間にフォームを改造。持っていたポテンシャルが一気に開花した。3月の練習試合で145キロをマーク。その後も常時140キロ台を低めに集める。タテに鋭く変化するスライダーも磨きがかかった。

生観戦ではココを見る!
圧倒的なスケールの大きさ

